

第五回

平成三十年度 がん川柳集

がん川柳五・七・五

がん患者の思いを川柳にのせて

独立行政法人 国立病院機構

 大分医療センター

もくじ

もくじ	1	がん川柳作品	
刊行にあたって		患者さんの句	11
院長あいさつ	2	家族の句	19
副院長・総合支援センター長あいさつ	3	支援者の句	25
緩和ケアチームリーダーあいさつ	4	その他	27
優秀作品	5	がん患者の思いを川柳にのせて	
		がん川柳の啓発活動	36
		これまでのがん川柳啓発活動	37
		応募規約	40
		あなたの一句を	41
		おわりに	42

刊行にあたって



院長
明秀 穴井

このがん川柳集は平成二十六年度版が創刊号です。今回で第五版になります。「がん川柳五・七・五」がん患者の思いを川柳にのせて「の表題でその思いは脈々と伝わってきています。毎回、日本国中から、たくさんの方の素晴らしい作品が寄せられています。中には常連になられた方もおられるみたいです。応募された全ての皆様に感謝申し上げます。

今回も八十二句のご応募がありました。おこがましいことですが、私を含め二十人くらいの職員で優秀作品を五作品選ばせていただいています。これがまた、どの作品を選んでよいのか、とても頭を悩ませます。全員で評価して選ばれた五作品の中に、私が選んだ作品は全くない時もありました。要するに、どの作品も甲乙つけがたく、素晴らしいと思うことだと思えます。当院の基本理念「愛の心・手」で病める人々に寄りそう医療のように、がんに病んでいる方、そのご家族の方、関係する医療スタッフに「愛の心・手」で寄り添っていきたいと思っています。皆さんどうぞご一読ください。



副院長・総合支援センター長

奈須伸吉

今年も、がん川柳をゆつくりと読ませていただきました。全国からたくさんご寄稿をいただき、ありがとうございます。川柳を通して毎年お会いできる常連さんもいらつしやれば、最近ご本人かご家族が病にかかれた方や、長年不安な気持ちを誰にも話せずにと我慢されてきた方もいらつしやるでしょう。勇気を出してがん川柳を詠んでいただいて、きつとみなさまの気持ちを切り替える小さな手助けになっ

ていると信じます。

世の中には、病をかかえながらも、日々できる事をしながら精一杯過ごされている方もいらつしやいます。一方で、病気はしていないけれど生きがいを持っていない方もいます。がん川柳がみなさまの心に少しでも響くように願っています。

昨今、AIで代表される最新医療技術の出現により、人からだのケアについては飛躍的な進歩が期待されています。しかし、人の心のケアについては少し置き去りにされていることはないでしょうか。AIが進歩すればするほど、病める人々の心をかにかにケアできるか医療者の資質が問われる時代になっています。

がん川柳が、病める人、そのご家族、周囲の全ての人がやさしい心を持つ一助になれば幸いです。



緩和ケアチームリーダー
高祖英典

本年も皆様のご協力により「がん川柳集
がん川柳五・七・五」を発刊することができま
した。大分医療センター緩和ケアチームの一員
として感謝申し上げます。またがん川柳にご
応募いただきました患者さん・ご家族・支援
者の皆様にも併せまして感謝申し上げます。
この取り組みも次第に認知度が高くなり、私
たちが驚かされるような反響もあり大変嬉し

く感じております。これほどの反響があると
いうことは、患者さんやご家族がこのような場
所を求めていたことの現れとも考えられます。
それを提供できた喜びがある一方で、今まで
気づけなかった思いがあったことは反省するこ
ろです。今後この取り組みを継続して患者
さんやご家族の思いをくみ取る努力を続けな
がら、まだ表せられない思いが無いか引き続
き検討し、和らげていくことができるように
取り組んでいこうと考えております。今後も
皆様のさらなるご支援をよろしくお願いいた
します。

優
秀
作
品

優秀作品賞

母笑顔
ははえがお

がんと共存
きょうぞん

それもあり

東京都

●作者からのメッセージ

母とは、私が嫁いだ先の義母です。義母は乳がんを患っていましたが、いつも笑顔でした。母は、「がんをいじめてばかりいたら、私も死んでしまうようで…」と、時折言っていました。義母はがんと共に生き、共存する道を歩んでいたように思います。

優秀作品賞

検診けんしんで

医師いしの笑顔えがおに

安堵あんどする

大分県

● 作者からのメッセージ

4年前、胃カメラでピロリ菌検査をしたところ、胃ガンが見つかり、腹腔鏡手術で3分の2を取りました。以降3ヵ月置きに、血液・CT・胃カメラ等の検査に、再発をビクビクしていますが、医師から「異常はありません、大丈夫ですよ」という言葉と笑顔に励まされています。患者は弱いものです、医師の力に感謝しています。このたびは簡単な句で優秀賞を頂き、元気をいただきました。ありがとうございました。

優秀作品賞

楽たのしめば

がんは魔まの手てを

引ひっ込こめる

大分県 極楽とんぼ

● 作者からのメッセージ

この度「がん川柳五・七・五」の優秀作品に選んで頂きましたのは2度目で驚いております。私は乳がん全摘出手術から6年経ち、もう大丈夫と思う気持と転移や再発の不安もある中で日々楽しむ事を心がけ「笑い転げて天命を待つ」と言う気持で今回詠みました。

優秀作品賞

笑^えみ添^そえて

弱^{よわ}気^きの虫^{むし}を

摘^つむ家族^{かぞく}

岐阜県

● 作者からのメッセージ

がん闘病中、挫けそうな時、優しく笑顔で支えてくれた家族が、心の糧にもなりました。

病気と向き合っていていらっしゃる方々が、いろいろな方々に支えられご回復されることを心からお祈りしております。

優秀作品賞

かがみ
鏡見て

なかなかいけてる

にそうがお
尼僧顔

神奈川県

● 作者からのメッセージ

3年前、薬の副作用で毎日抜け毛がごっそり。それを見る度に心はブルーに…。どうせ抜けるのだからと残っている毛を全部剃って丸刈りにしました。

その結果？（川柳に） 見た目も心もスッキリ！

ほどなく、私の頭の新芽も春の訪れと共に成長し、今では立派な成木に育ちました。

患者さんの句

せいじょう
正常に

ぶんれつ
分裂してよ

おれ こま
俺れ困まる

大分県 ナダ

がんにかつ
がんに勝

ある すがた
歩く姿は

ゆり はな
百合の花

大分県

NK
細胞さいぼう

わらい がん
笑で癌を

たいじでき
退治出来

大分県 寅次郎

しんらい
信頼の

きずな いど
絆で挑む

ちりよう
がん治療

大分県 和人

生きなくちやい

この子こ

大きくなるまではおお

東京都

マスタード

昔むかし 猛毒もうどく

イマクスリ

大分市 ガンバロー

子や孫にこ まご

会えて良かつたあ よ

がん告知こくち

大分市 土手

恐がるなこわ

二人ふたりに一人ひとりは

がんになる

大分市 土手

終活しゆうかつが

出来る間できまがある

がんもいい

大分市 土手

寿命じゆみようとは

少しすこ早いはやか

遅いおそだけ

大分市 土手

手術前しゆじゆつまえ

声こえかけられて

湧くわ希望きぼう

大分市 土手

悔あなどるな

こらえすぎるな

がん治療ちりよう

大分市 土手

がん告知 こくち

俺も人並み おれひとな

生きてやる い

埼玉県 岩窟王

もう来るな く

5年過ぎたよ ねんす

転移なし てんい

大分県 にし

転移なし てんい

CT判定 はんてい

5年過ぎ ごねんす

大分県 杵築市

ガンになり

妻の対応 つまたいおう

いっぺんし (やさしくなった)

大分県 なべちゃん

ガンステージ

おととよん
第四

おれさん
俺は三

ふたり
二人で苦笑い

大分県 グチ

ガンと知り

いのち
命の重さ

み
見め直す

大分県 山ちゃん

おととお
音遠く

くち
口びる動きで

ことば
言葉みつける

大分県 ヒロさん

け
消せぬがん

てき
敵と思わず

とも
共に生き

埼玉県 氷川の杜

術後の定検
じゆつご ていけん

三月毎に命をもらい
みつぎごと いのち

もうすぐ五年
ごねん

福岡県 イツチー

今は昔
いま むかし

生きる半ばに
い なか

癌ありき
がん

神奈川県 はぎくら

臍臓の
すいぞう

血液検査
けつえきけんさ

別途とは
べつと

大阪府

手術痕
しゆじゆつあと

撫でては感謝
な かんしや

医師の顔
いし かお

大分県

かくごき
覚悟決め

あと
後は頼むと

しゅじゅつしつ
手術室

奈良県

せいかん
が人生還

かんれきす
還暦過ぎた

はくじゆこ
白寿越え

埼玉県

まえむ
前向きに

がんむあ
癌と向き合い

じがじさん
自画自賛

奈良県
ほつとまん

つた
伝えたい

そうきはつけん
早期発見の

きも
この気持ち

大分県
白いボール

家族の匂

添そいと遂とげる

癌がんごと如ごときとには

邪じやま魔まさせぬ

宮崎県

がん告知こくち

俺おれより妻つまが

泣ないている

福岡県 坊主薬剤師

告知こくち受うけ

生いきると決きめた

家かぞく族ぞくの和わ

岡山県 桃太郎

あと一年いちねん

夫婦ふうふの絆きずなで

のりこえる

大分市 プリン

寄り添よそって

命いのちの炎ほのお

絶たえさせず

千葉県 江戸川散歩

胃いカメラに

ラボ豚心

しみじみと

東京都 高座扇

笑い声わらごえ

妻つまの女子会じょしかい

廊下ろうかまで

大阪府 アントニオ馬場

抗こうがんへ

じわり深ふかまる

家族愛かぞくあい

奈良県 よもやま話

「順繰りや」
じゆんぐりや

ガンを患う
がんをわづら

父が言う
ちちがいう

宮崎県 勝井マン

不運でも
ふうんでも

癌転移なく
がんてんいなく

安堵して。
あんどして。

福岡県 整体師

がんなおれ

あそぼと孫が
あそぼとまごが

笹に吊り
ささにつ

岐阜県 清流

手術後の
しゆじゆつごの

平穏な日々
へいおんなひび

安堵する
あんどする

埼玉県

がんに勝ち

がくどうほいく
学童保育

いきいきと
生き生きと

埼玉県

うけいれる
受け入れる

ゆうき あい
勇气と愛で

すすみち
進む道

大阪府

さんばま
散歩待つ

じかん
いつもの時間

ちち いぬ
父の犬

埼玉県



支援者の旬

がんに克^かて

せいぞんきようそう
生存競争

みんな勝^かて

宮崎県

いしや
医者の他^{ほか}

なお
活^かった方^{かた}の

こえ
声^こを聞^きく

京都府

きょうだい
兄妹^きの絆^{きずな}

がんはっしやう
父^{ちち}の癌^{がん}発症^{はっしやう}が

ふたた
再^{また}びつながる

大分県 つるちゃん

ロスタイム

ここでシユートだ

ガンにカツ

神奈川県

そ

の

他

ひとつぶ
一粒で

なお
直る新薬
しんやく

まつ
待つ家族
かぞく

神奈川県

かぞくあい
家族愛

がんば
頑張る気力
きりよく

なお
活すガン

滋賀県

い
逝かんさあ！

どく
「毒」づく心が
こころ

めい
名「意」なり

埼玉県

うみ
ガンの海

およ
泳ぎきりたい

がん
願スイマー

青森県 美泳

負けるなよま

ガンは生命といのち

競走だきょうそう

愛知県

病気にびょうき

なつても人生はじんせい

つづく坂さか

島根県

がんに勝ちか

首相になつたしゅしやう

今気分いまきぶん

大分県 笑顔

がん細胞さいぼう

気弱な貴方のきよわ あなた

隙狙うすきねら

兵庫県 はるみちやん

ガンなんか

負けたらアカン

打ち克とう

兵庫県 とくさん

ガン予防

希望と気力で

立ち向かう

兵庫県 おとみさん

ガン治療

薬と気力の

二刀流

兵庫県 こうちゃん

がんになり

命は宝と

実感し

大阪府 豆助

負けないよま

がんに自分にじぶん

挑戦者ちようせんしゃ

大阪府 北斗

がん完治かんち

妻よ喜べつまよろこ

リセットだ

大分県 いさお

がん医療いりよう

任せなさいとまか

ロボットたち

大分市 せつこ

夫よりおと

つき合い長いあなが

ガン友にとも

大分県 ひでちゃん

いまわ
今分かる

くる
ガンの苦しみ

つらかった

大分県 てっちゃん

こくち
がん告知

かぞく
家族の絆

ため
試される。

三田市 修平

けんしん
検診で

み
見つかっちゃった

かくれんぼ

愛知県 ばいなりい

こ
がん越えて

つた
伝え始めた

いのち
命の尊さ

大分県

新治療 しんちりよう

新元号に しんげんごう

期待する きたい

大分県 婚活難民

活るんだ なほ

強いところが つよ

治療役 ちりようやく

静岡県

やめればと

癸症してから はつしよう

我が身知る わがみし

愛知県

伝えるは つた

敬意か愛か けい い あい

遺伝子か いでんし

福岡県

めんえき
免疫と

かぞく えがお
家族が笑顔

ま
待っている

東京都 はぐれ雲

あか
明るいに

つよ はんのう
強く及ぶ

い
生きるバネ

愛知県 ニシイーモン

ガンと聞き

ひび たから
日々を宝と

せいいつばい
精一杯

兵庫県

三口の

がんやま こ
癌山を越えたり

けんこう
健康か

神奈川県 ギザギザ仮面

いまどき
今時は

ほうしゃせん
放射線ピンポイント

こうげき
攻撃だ

神奈川県 ギザギザ仮面

か
ガンに勝つ

きりよくたいりよく
気力体力

せいしんりよく
精神力

静岡県



～がん患者の思いを川柳にのせて～ がん川柳の啓発活動



がん川柳表彰式



これまでのがん川柳啓発活動

がんチャリティーイベント
リレー・フォー・ライフ大分



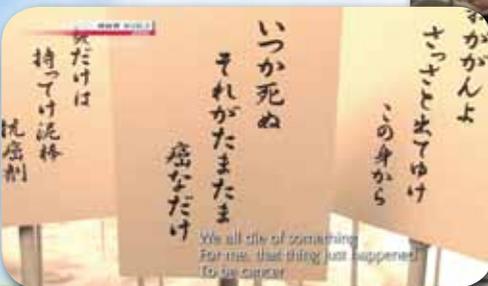
大分医療センター以外の
がんサロンで交流



外来フロア掲示



世界160ヶ国 テレビ放送



一般書店にて



テレビ全国放送



講演



新聞掲載



応募規約

【応募条件】

- ・作品の応募はおひとり様二点までとさせていただきます。
- ・二点を超えた応募の場合は選考対象となる二点を当主催者にて選定させていただきます。
- ・応募作品は応募者または第三者の個人情報が含まれていないものに限ります。

【作品取扱い】

- ・ご応募頂いた作品の著作権は著作者に帰属しますが、当主催者にはその使用权が許諾されます。
- ・当主催者は応募作品の作品集、もしくは書籍化、宣伝広告、ホームページなどにおいて無償で使用することができるとします。
- ・当コンテストに応募された作品の転載はご遠慮願います。

【作品制限】

- ・応募作品が以下の内容に該当すると当主催者が判断した場合、当主催者は事前の通知等なく展示をせず削減することができません。
- ・公序良俗に反している、またはそのおそれがあるもの。
- ・第三者の著作権その他の権利を侵害または、侵害するおそれのあるもの。
- ・第三者を誹謗中傷しているもの、またはそうとらえることができるもの。
- ・第三者のプライバシーの侵害、または侵害のおそれがあるもの。
- ・法令等の違反、またはそのおそれがあるもの。
- ・当コンテストの適正な運用の妨げ、またはそのおそれがあるもの。

あなたの一句を



日付 (/ /)

おわりに

最後まで読んで頂きありがとうございます。全国から集まったがん川柳を通じて、皆さんはどのようなことを感じたでしょうか。

このがん川柳集冊子の発行は今回で五回目となります。がん患者さんやがん患者さんを支えている家族・知人・支援者等が、がんにまつわるエピソードや日頃の思いを、五・七・五の十七音の形式の川柳にのせて感情表出を行い、心のケアを行うことや、がん川柳の思いを地域・社会へ発信し、がん患者さん等の思いを共有することを目的に、二〇一五年三月に第一回目のがん川柳集を発行しました。これまで院内配布・掲示は勿論のこと、がんチャリティーイベントやがんサロン、大分県内各地のがん相談支援センターでの配布、テレビや新聞等の様々なところで発信することができ、がん川柳を通して多くのがん患者やがん患者を支えている家族、知人、支援者の方々の『がん』への思いを繋ぐ事

ができました。改めて、この度五回目となる平成三十年degがん川柳集が無事刊行できたことを嬉しく思います。本冊子も多くの方々に『がん』の思いを共有できることや皆さんの心の支えになってくれることを願っています。

最後に、本冊子をつくるにあたり、ご支援して下さったがん川柳を応募してくれた方々やがんサロンに参加してくれた方々、がん川柳に触れ共感してくれた方々、そして病院のスタッフ等に厚くお礼を申し上げます。

がん相談支援センター
ローシヤルワーカー 村上英恵
がん性疼痛看護認定看護師 廣田 紘子

第五回

平成三十年度

がん川柳集

がん川柳五・七・五

がん患者の思いを川柳にのせて

発行日 二〇一九年四月一日

発行・編集 独立行政法人 国立病院機構

大分医療センター

大分市横田二丁目十一番四十五号
電話 〇九七―五九三―一一一

